

香川県英語教育改善プラン

実施内容

I 英語教育の状況を踏まえた目標

○英語教育の状況を踏まえた目標

本県では、「県学習状況調査」や「英語教育実施状況調査」、「全国学力・学習状況調査及び児童生徒質問紙」の結果を踏まえ、教員の指導力・英語力向上及び生徒の着実な英語力向上を図るため、以下の目標設定と管理の下で英語教育関連施策を実施する。※()は前回調査の数値

① CAN-DO リスト形式による学習到達目標の設定、公表及び達成度の把握等の状況

【R4 目標値】	〔中学校〕	設定	100%(100%)	公表	60.0%(60.0%)	把握	100%(70.0%)
	〔高等学校〕	設定	100%(100%)	公表	50.0%(50.0%)	把握	80.0%(80.0%)

【R3 達成値】	〔中学校〕	設定	100%(100%)	公表	23.1%(6.1%)	把握	100%(30.3%)
【R3 達成値】	〔高等学校〕	設定	100%(100%)	公表	24.0%(16.0%)	把握	42.0%(50.0%)

【方 策】

- ・「CAN-DO リスト」形式の学習到達目標は、児童・生徒が学習を進めていく上で明確な指標となることや、教員にとっても目標と指導、評価の一体化を図る際に必要となる観点から、各校種の学校授業づくり研修会や教育課程運営改善連絡協議会等において、その必要性について周知するとともに、各校での活用を図る。
- ・公表について改善が思うように進んでいないことから、授業者と生徒で学習到達目標の共有することの有用性について理解を図るとともに、授業者が主体的に現在の CAN-DO リストの見直し、実際に活用できるものになるよう改良を加える。このことについて、県下の研究団体と連携し、日頃の指導場面において授業の具体例を示し、周知・啓発する。
- ・高等学校においては、生徒の英語 4 技能の向上のために、教員による CAN-DO リストの作成・公表・達成状況の把握の 3 点について、学校の指導訪問や英語科主任会等で情報共有と指導を行う。

② 生徒が授業において英語による言語活動を行う時間の割合

【R4 目標値】	〔中学校〕	90.0%(90.0%)	〔高等学校〕	75.0%(75.0%)
【R3 達成値】	〔中学校〕	73.9%(88.4%)	〔高等学校〕	53.8%(69.3%)

【方 策】

- ・優れた指導技術をもつ授業リーダーによる公開授業及びその後の研究討議等を通じて、生徒が英語を用いる言語活動が中心となる授業の在り方や指導技術等について理解を深める。研修に参加した教員は、校内研修等の機会に研修の成果を広める。
- ・教員が表現を示し過ぎることなく、生徒が目的や場面、状況に応じて、自分自身で考えたり調べたりした言葉で相手に伝えられるよう、教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、各種指導訪問などの際に、指導助言を行う。
- ・高校においては、生徒の英語による言語活動の時間を増やすために、ペアワーク・グループワークを基本とした学習形態が主流となるよう、英語科主任会や学校訪問時等に助言を行う。
- ・高校においては、4 技能（5 領域）のバランスのよい定着を意識した言語活動を推進するため、公開授業を行い、指導方法を学ぶ機会とする。

③ パフォーマンステストの実施状況

【R4 目標値】	〔中学校〕	Sp. 4(3) Wr. 3(3)	〔高等学校〕	Sp. 8.1(7.5) Wr. 15.1(14.0)
【R3 達成値】	〔中学校〕	Sp. 3(3) Wr. 3(3)	〔高等学校〕	Sp. 4.6(5.5) Wr. 9.9(11.7)

【方 策】

- ・スピーキングテストに関する研修を通して、指導と評価を一体化させた効果的な取組につい

て事例を踏まえて理解を深める。

- ・令和4年度中には、県立高校においても一人一台タブレットの配備が完了する予定であるため、タブレットの録音機能を使用したスピーキングテストをすすめていくのに加えて、感染症拡大防止対策としてオンラインでのスピーキングテストについても事例を紹介する。
- ・実施状況の改善をはかるには、「なぜパフォーマンステストを100%実施すべきであるか」について共通理解を持つことが必須であり、パフォーマンステストの実施が不十分であることは授業中の言語活動が不十分であることの裏付けであることを、英語科主任会や学校訪問の機会を逃さず伝える。

④ 英語科教師の授業における英語使用状況

【R4 目標値】 [中学校] 85.0%(85.0%) [高等学校] 70.0%(70.0%)

【R3 達成値】 [中学校] 75.3%(85.6%) [高等学校] 46.8%(55.1%)

【方 策】

- ・教育事務所や市町（学校組合）教育委員会と連携し、各種指導訪問など各種指導の際に、授業者の発話だけでなく、生徒とインタラクションを図りながら言語活動を展開する指導方法や思考・判断・表現する力が育成されるような英語使用について指導・助言する。
- ・高校においては、全ての学校訪問で、基本的に授業は英語で行うことについて引き続き指導する。学校訪問時の授業参観（全学年全クラス）で、英語使用状況に問題がある学校については、当日の指導だけではなく、個別の指導を継続し、状況改善について報告を求める。

⑤ 求められる英語力を有する中・高等学校英語担当教師の割合

【R4 目標値】 [中学校] 50.0%(50.0%) [高等学校] 87.0%(87.0%)

【R3 達成値】 [中学校] 45.1%(41.2%) [高等学校] 78.4%(83.8%)

【方 策】

- ・普段使用するクラスルームイングリッシュや言語活動での英語表現などの適切な使い方や正確な発音・アクセント等について、日常的にALTと情報交換することを通して、教員の語彙力や英語運用能力の強化を図る。
- ・CEFR B2 レベル以上を取得している英語担当教員の割合が高い県に比べて、受検経験者の割合が低いことから、県の資格試験受検費補助事業について英語教員が集まる研修で周知する。
- ・高校においては、学校訪問等の機会に英語教員に4技能試験を教員自身が受検し続けることの重要性について意識付けを行う。
- ・教員採用選考試験へ出願する際、英検一級、TOEFL iBT 92点以上、TOEIC 850点以上の英語運用能力を持つものは、専門教養（英語）を免除することができるようにする。

⑥ 求められる英語力を有する生徒の割合

【R4 目標値】 [中学校] 50.0%(50.0%) [高等学校] 45.0%(45.0%)

【R3 達成値】 [中学校] 37.4%(34.9%) [高等学校] 40.8%(42.6%)

【方 策】

- ・香川県教育委員会が実施する学習状況調査と合わせて4技能の調査となるよう、民間のスピーキングテストを実施する。調査の結果について、成果や課題、改善策等を各校の英語担当教員に周知し、生徒の英語力を高めるよりよい学習指導について具体を挙げて示す。発信力強化に向けた授業改善を推進するため、既存のセンター研修を活用し、その研修内容をスピーキング力向上のための指導改善等に特化する。
- ・本県においても、生徒の英語力は中学校区内の小中連携の実施率と相関がみられることから、小・中学校の円滑な接続を前提とした上で、中学生の英語力向上を図ることができるよう、県版の小中連携型CAN-DOリストを作成・活用を推進させる。
- ・今後一層、生徒が英語で表現する能力が求められることから、令和元年度から県立高校においてALTを2名増員し、生徒の英語力の向上を図っており、令和4年度についても増員を

要求している。

- ・中高生を対象とした「留学フェア」や「留学相談会」を実施することにより、授業以外でも英語学習に対する動機づけを図る。

⑦ 「英語の授業では、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思う」とする生徒の割合

【R4 目標値】 〔中学校〕 82.0%(80.0%)

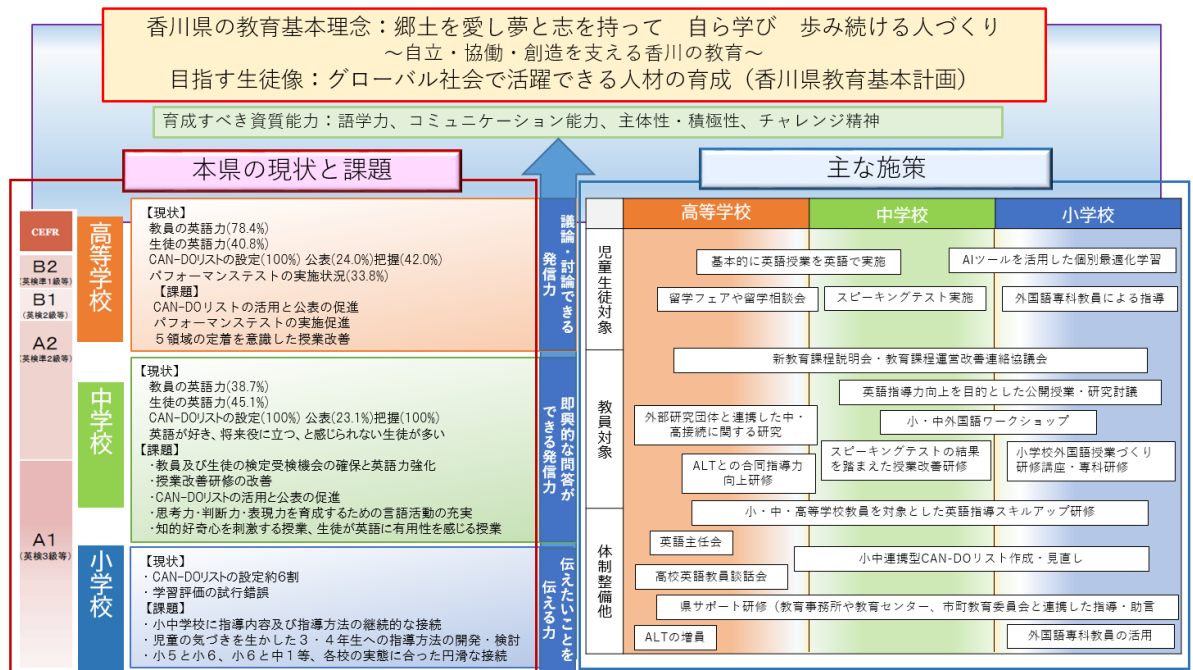
【R3 達成値】 〔中学校〕 80.8%(75.8%)

【方 策】

- ・技能統合型の言語活動を一層促進するために、ICT機器を効果的に活用し、文字認識機能・英文添削機能・英文読み上げ機能・英語発話診断機能等を組み合わせながら、児童生徒一人一人の学習の個性化を推進する。
- ・目的や場面、状況に応じて、生徒が主体的に思考判断し、知識技能を活用しながら問題解決に挑むことのできる課題設定について、各種研修において周知・啓発する。
- ・若い先生方が増える中、指導力向上・継承のため、「せとうち先生スキルアップチャンネル」を開設し、優れた指導技術をもつ教員の指導のポイントを動画にまとめ、ホームページで公開する。

Ⅱ Iの目標を達成するための取組（施策の全体像と具体的な計画）

(1) 香川県の教育基本理念と英語教育施策の全体イメージ



(2) 具体的な計画

以下の研修については、各研修後に評価や調査を実施し、その結果を分析するとともに、成果と課題を次年度以降の取組に反映させる。実施の可否及び実施方法については、新型コロナウイルス感染症に対する香川県対応方針及び文部科学省の衛生管理マニュアルに従う。また、会場については、関係の業者別ガイドラインに基づいて感染症対策を行っている場所とする。

【各校種等】

研 修 名：小学校外国語の授業づくり研修【小】

研修対象者：小学校教員・小学校外国語専科教員

研修目的：学習指導要領の趣旨に沿った指導の在り方及び指導力の向上
 内 容：香川県教育委員会事務局指導主事による講話及び演習
 定員見込：30名
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川県教育委員会、県教育センター、市町教育委員会

研 修 名：初任者研修【小】
 研修対象者：小学校新規採用教員
 研修目的：新規採用の全ての小学校教諭に小学校の英語の授業について見識を深めること
 内 容：県事務局指導主事から小学校での外国語の授業の在り方や現状について学ぶ
 定員見込：30名
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：県教育センター

研 修 名：中学校外国語の授業づくり研修【中】
 研修対象者：中学校英語教員
 研修目的：生徒のスピーキングスキル向上を図る指導実践の普及啓発
 内 容：民間事業者と連携した英語の発信力を高める指導と評価についての実践研修
 定員見込：30名
 評価方法：参加者によるアンケート、追跡調査等
 連携体制：県教育センター

事 業 名：英語スピーキングテスト【中】
 対 象 者：公立中学校に在籍する2年生全員
 事業目的：中学生の英語力の向上及び結果に基づく授業改善や教材開発の推進
 内 容：「話すこと」に関する能力の外部検定試験の実施
 実施人数：8100名
 評価方法：抽出校へのアンケート、聞き取り調査
 連携体制：民間事業者

研 修 名：英語科主任会【高】
 研修対象者：各校英語科主任
 研修目的：「英語教育実施状況調査」の結果説明
 内 容：調査結果に基づいた授業改善の視点について伝達
 定員見込：30名
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：民間事業者

事 業 名：高校教員英語指導力向上事業【高】
 対 象 者：高校英語教員
 事業目的：高等学校教員の指導力向上
 内 容：優れた指導力を持つ教員の公開授業及び研究協議
 定員見込：30名×2回
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川大学、高松大学

研 修 名：高校英語教員談話会【高】
 研修対象者：高校教員、香川大学英語担当教員
 研修目的：授業改善についての情報交換

内 容：録画した授業についての研究協議、研究発表、言語活動の共有
 定員見込：15名×9回
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川県教育委員会、香川大学

事業名：小学校外国語のための免許法認定講習【大学】
 研修対象者：小学校教員
 研修目的：小学校外国語指導に関する専門性の向上
 内 容：小学校外国語に関する講義、演習、討議
 定員見込：10名
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川県教育委員会、香川大学

【中学校・高等学校共通】

研修名：香川県英語教育研究会（春季大会）
 研修対象者：県下の中学校・高等学校の英語教員
 研修目的：英語指導技術の向上、中高英語教育の円滑な連携の推進
 内 容：各校種の公開授業を踏まえた研究協議、講演会
 定員見込：500名（中高合同）
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川県教育委員会、教科研究団体

【小・中学校・高等学校共通】

研修名：外国語指導助手との合同指導力向上研修
 研修対象者：小・中・高等学校の英語担当教員
 研修目的：教員の英語力や英語発信力の向上
 内 容：ALT等とのグループ協議及び英語の正しい運用に関する情報交換
 定員見込：50名
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川県教育委員会、知事部局国際課

事業名：研修サポート事業・要請訪問
 対象者：各小・中・高等学校
 事業目的：校内の英語研修の支援
 内 容：校内研修や授業研究の指導者として県教育センターや高校教育課指導主事等を派遣
 実施校数：30校
 評価方法：各種アンケート
 連携体制：県教育センター、各教育事務所、高校教育課

研修名：教育課程説明会・教育課程運営改善連絡協議会
 研修対象者：小・中・高等学校教員
 研修目的：学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の確実な実施
 内 容：指導方法の工夫改善や評価に関する研究協議及び資料提供
 定員見込：1000名（全校種合計）
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川県教育委員会、各教育事務所

研修名：外国語ワークショップ
 研修対象者：小・中・高等学校教員

研修目的：小・中・高等学校教員の英語指導力の向上
 内 容：学習指導要領の趣旨を踏まえた効果的な言語活動の在り方等について学ぶ
 定員見込：20名（各校種）
 評価方法：参加者によるアンケート
 連携体制：香川県教育委員会、各教育事務所、市町教育委員会、教科研究団体

（3）年間事業計画

月	主な取組	連携先等
4月	高校英語教員談話会	香川大学
5月	英語科主任会 香川県英語教育研究会 高校英語教員談話会 AI活用英語指導開発事業	高校教育課 教科研究団体等 香川大学 民間事業者
6月	研修サポート事業・要請訪問 高校英語指導力向上事業 高校英語教員談話会	県教育センター・教育事務所 香川大学 香川大学、高松大学
7月	高校英語教員談話会	香川大学
8月	教育課程運営改善連絡協議会 小学校外国語の授業づくり研修 中学校外国語の授業づくり研修 教育課程説明会	教育事務所 県教育センター 県教育センター 高校教育課
9月	高校英語教員談話会 外国語ワークショップ	香川大学 大学、教科研究団体等
10月	研修サポート事業・要請訪問 初任者研修 高校英語指導力向上事業 高校英語教員談話会	香川大学 県外国語教育研究団体 香川大学、高松大学 香川大学
11月	外国語ワークショップ	大学、教科研究団体等
12月	高校英語教員談話会	香川大学
1月	高校英語教員談話会 英語スピーキングテスト	香川大学 民間事業者
2月	外国語ワークショップ 外国語指導助手との合同指導力向上研修 高校英語教員談話会	大学、教科研究団体等 知事部局国際課 香川大学

IV 研修等実施体制の概要

